

2024 年 6 月 26 日

製造業向け金属 3D プリンター EOS M 290-2 の販売を開始 -連続生産向け高品質・高生産モデル-

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズ

株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズは、製造業向けの金属 3D プリンターである EOS M 290-2 を 2024 年 7 月より販売開始します。EOS M 290-2 は、L-PBF 方式^(注1)の金属 3D プリンターで世界シェア No.1 であり受賞歴^(注2)のある EOS M 290 に、2 本の 400W レーザーを搭載した連続生産に最適なシステムです。

デュアルレーザーを搭載することによって、シングルレーザーである EOS M 290 よりも造形時間が短縮され生産性が向上するため、製造する部品の単価を下げる事が可能になります。

【背景】

EOS M290-2 は、これまで EOS 製 3D プリンターのカスタマイズを専門とする EOS グループの AMCM 社^(注3)が、AMCM M 290-2 として開発・製造・販売を行っていました。様々な市場のニーズに応えるため、この度 EOS の標準機としてラインナップしました。

これにより、EOS M 290 シリーズはスタンダードモデルの EOS M 290、熱交換器やインダクターなどの用途で活用される銅や銅合金での製造に最適な EOS M 290 1kW、生産性を高め部品単価を下げる EOS M 290-2 の3機種展開となります。

【特長】

EOS M 290 の信頼性はそのままに、デュアルレーザーで造形時間を短縮し生産性を向上することができるため、比較的小さいサイズの部品の連続生産に適した金属3D プリンターです。

北欧企業の AMEXCI がパイロットユーザーとして EOS M 290-2 を使用し、試験製造において部品単価を 76%下げること成功しています。

■EOS M 290-2 スペック

造形可能領域(xyz):	250×250×325mm
レーザー	: Yb-fiber laser 400W ×2 本
スキャン速度	: ~7.0m/s
フォーカス径	: 約 85 μm

- 2本のレーザーが造形エリア全面をカバーできるフルフィールド オーバーラップ機能
- ガスフローを最適化したことにより、シングルレーザーの EOS M 290 と同等の材料特性を実現
- 最大 7.0m/s の冷却機能付きデジタルスキャナを搭載
- EOS M 290 と同等のプロセス品質と材料ラインナップ



図 1. EOS M 290-2

【今後について】

EOS M 290-2 は 2024 年 7 月より日本国内での販売を開始します。

NTT データ ザムテクノロジーズでは、用途開発から製造まで 3D プリント技術の導入をワンストップで支援しています。
ご希望の材料種での造形や、3D プリント技術の導入に向けた試作・開発をご希望のお客様は当社までお問合せください。

(注 1) L-PBF: Laser Powder Bed Fusion の略称。レーザー粉末床溶融結合法と呼ばれ、産業用金属 3D プリンターで最も一般的な方式です。

(注 2) EOS M 290 は多くのユーザー様に選ばれ、2021 年度の Enterprise 3D Printer of the Year (Metals) Award を受賞しました。 <https://3dprintingindustry.com/news/2021-3d-printing-industry-awards-winners-announced-198231/>

(注 3) AMCM 社 HP: <https://amcm.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

■ 報道関係のお問い合わせ先 株式会社 NTT データ ザムテクノロジーズ 経営戦略統括部 コーポレート部 Tel: 03-6433-0577	■ 製品・サービスに関するお問い合わせ先 株式会社 NTT データ ザムテクノロジーズ 営業統括部 マーケティング部 鈴木 里英子 Tel: 072-789-9155
---	--

—AMをものづくりのあたりまえに NTTデータ ザムテクノロジーズ—